

リーディングDXスクール事業【実践事例】

桑名市立光陵中学校

【取組内容⑤】「委員会活動におけるクラウド活用」

- ☆月一回の活動で方針や企画を示し、期間を設定して活動が可能
- ☆共有機能を使用して委員会活動の進捗状況を確認
- ☆データや記録をクラウド上に保管

○視聴覚実行委員会の取組みとして、各部活の部長へインタビューを実施した。

各自が担当部長へのインタビューをタブレットで撮影し、共有の作業スペースに保存するようにした。教師はもちろん、生徒同士でも進捗度合いがいつでも確認でき、他の生徒が撮影した映像を参照することも可能となる。このスペース上でそのまま編集作業をおこなうこともできる。

視聴覚実行委員会 視聴覚実行委員会

視聴覚共有

部長インタビューについて

生活造形部 → 女子卓球部 → 男子バスケットボール → サッカー部

吹奏楽部 → 野球部 → 自然科学部 → 男子テニス部

女子バレー部 → 女子ソフトテニス部

卒業ソング詳細

【クラスみんなに伝えてもらうこと】  
流したい卒業ソングをリクエストカード（公衆電話の隣に置いてある）に書いてリクエストBOX（リクエストカードと同じ場所）にぜひ入れてね ということ  
※必ずリクエストした曲が流れるわけではない

資料をタブレットに入れておくことで、いつでも参照できる。

簡単な用件をチャット的に伝えることも可能。

伝達事項を掲載することで、情報が正確に伝わる。

- ☆委員会として集まる時間を減らしつつ、互いを参照しながら取り組みが確実に進む。
- ☆集めたデータを活用し、ポスターや動画の作成などが簡単に行える。
- ☆教師が各委員の活動を簡単に掌握可能。